

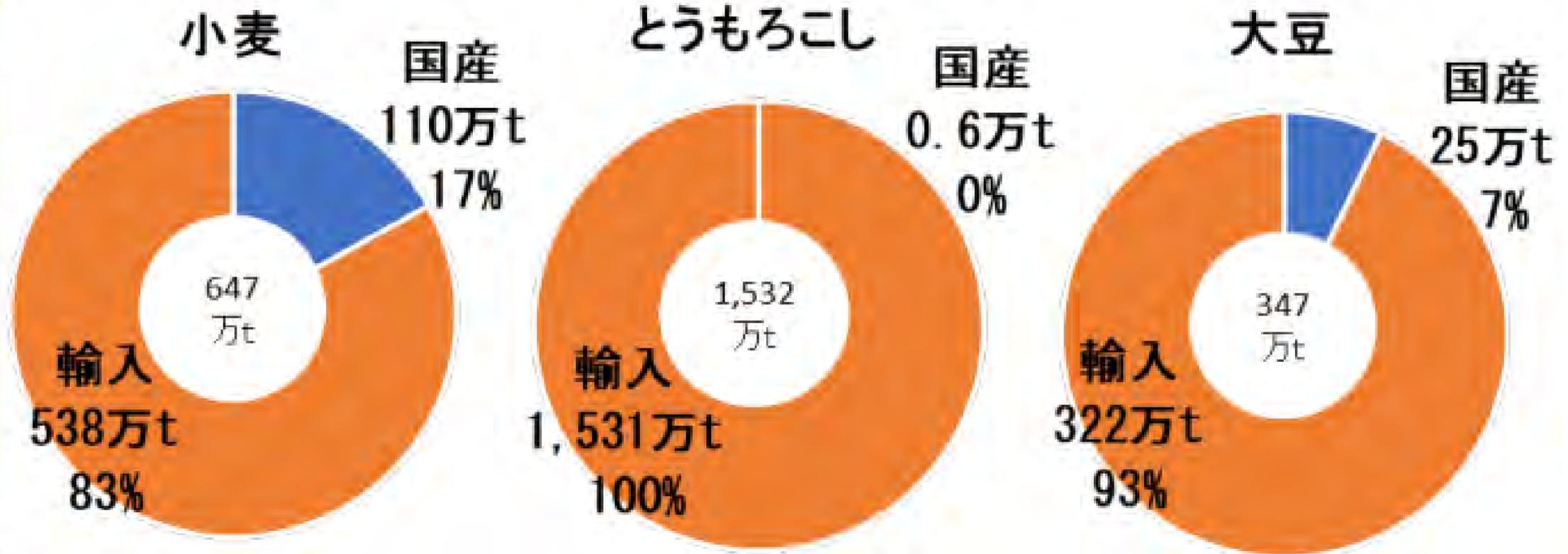
# 中南米地域における農林水産分野での取組

---

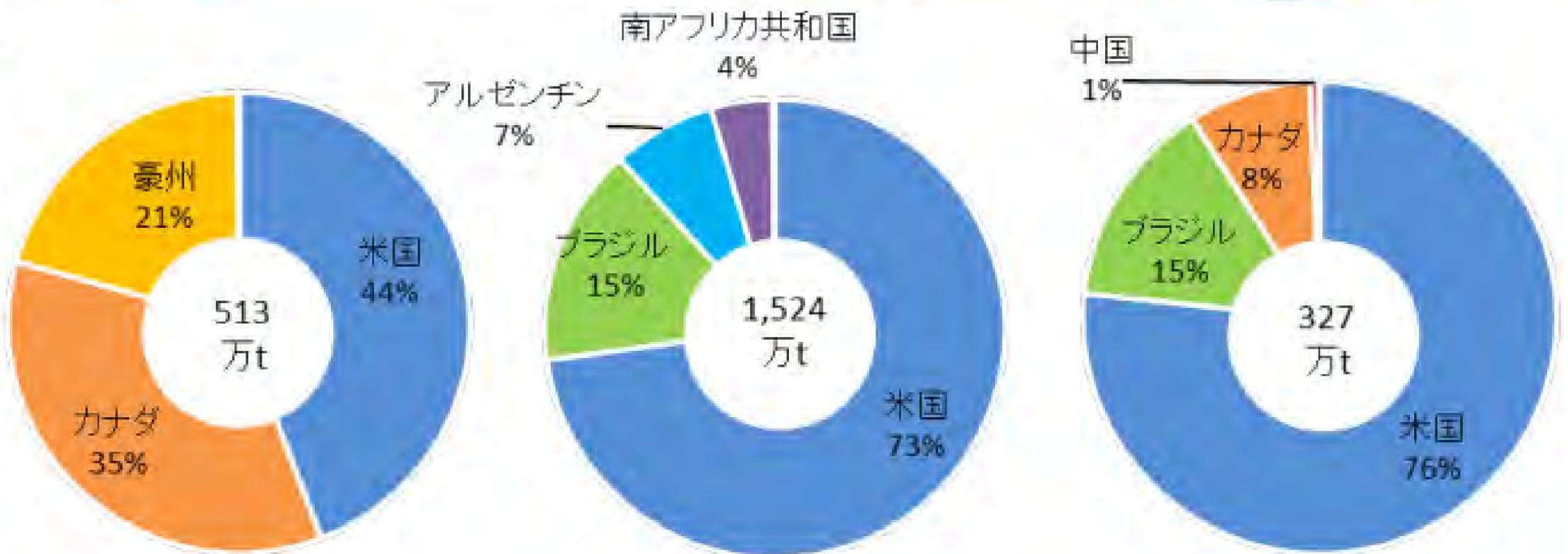
令和5年3月  
農林水産省

# 我が国における小麦・とうもろこし・大豆の消費・輸入状況

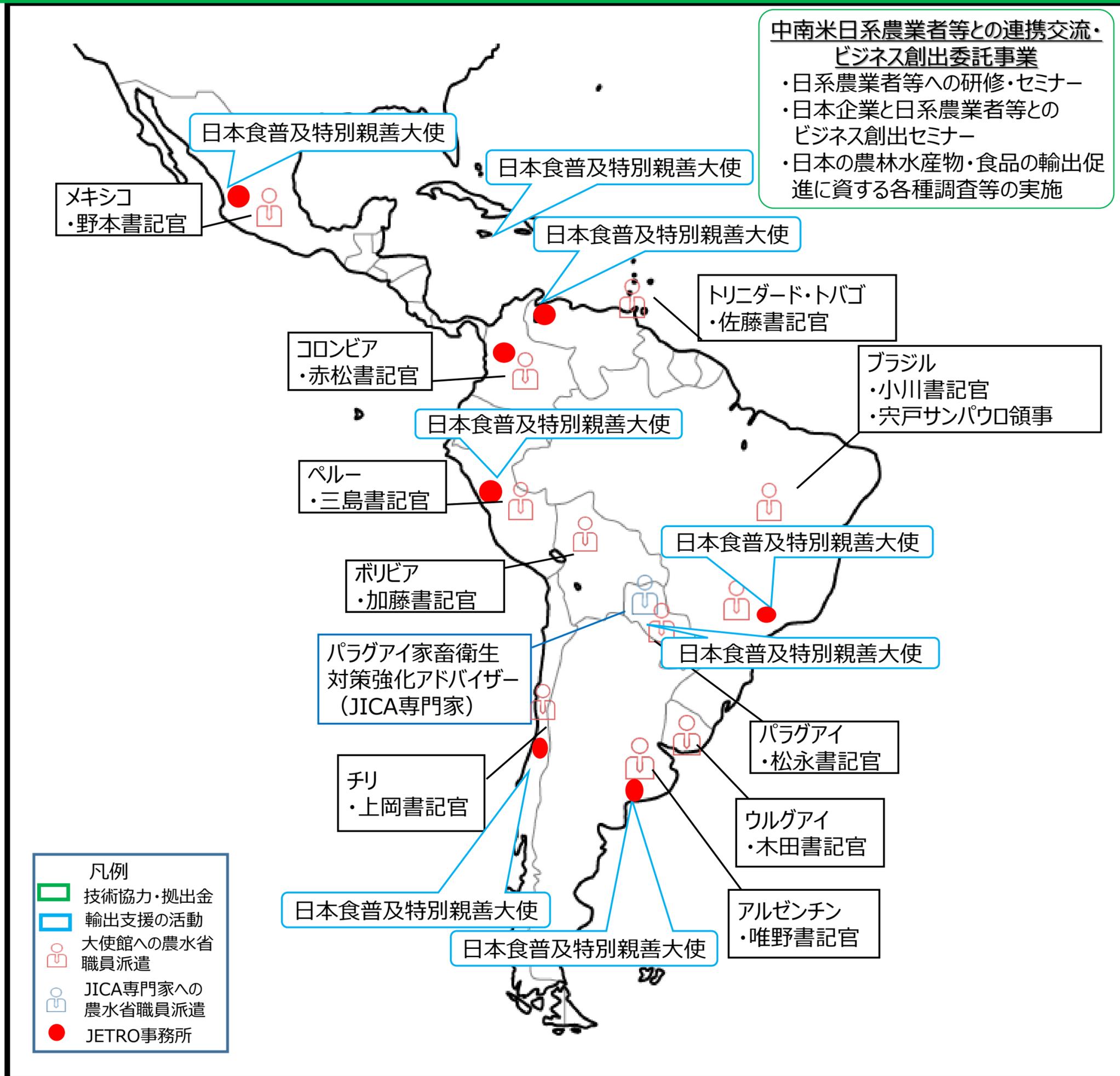
国内消費(令和3年度)



輸入内訳(2021年)



# 中南米各国での主な取組（農水省分）



# 二国間政策対話

官民合同の二国間対話、ミッション派遣等を通じ、日本の食品輸出・日本食普及、農業・食品分野での連携強化、投資・ビジネス環境の改善、食品関連規制の改善、日系農業者との連携・交流の強化等について、意見交換、議論を実施。

## 日伯農業・食料対話

第1回対話：平成26年12月8日於：ブラジル・サンパウロ

第2回対話：平成28年2月29日、3月1日（於：トカンチンス州パルマス市）

第3回対話：平成29年7月7日（於：ブラジル・サンパウロ）

第4回対話：平成31年8月26日（於：ブラジル・サンパウロ）

### <主要議題>

①農業食品分野での日伯間の連携、②投資・ビジネス環境の改善、③穀物輸送インフラの改善、④ブラジルの食品関連規制、⑤日系農業者等との連携・交流強化 等



## 日亜農林水産業・食料産業対話

第1回対話：平成30年2月20日（於：アルゼンチン・ブエノスアイレス）

第2回対話：平成31年3月8日（金）（於：東京）

### <主要議題>

①日亜の今後の農林水産業政策の展開方向、②日亜間のビジネス関係の強化、③投資・ビジネス環境の改善、④G20での協力、⑤穀類及び肉類に関する情報交換のための行動計画 等

# 2030年輸出 5兆円目標の実現に向けた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の実施

【令和5年度予算概算決定額 10,871（10,787）百万円】

（令和4年度補正予算額 42,609百万円）

## ＜対策のポイント＞

5兆円目標の実現に向けて、官民一体となった海外での販売力の強化、マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し、省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等を支援。

## ＜政策目標＞

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

## ＜事業の全体像＞

### 1 品目別輸出目標の達成に向けた官民一体となった海外での販売力の強化

#### （1）マーケットインによる海外での販売力の強化

- ・ マーケットイン輸出の実現に向けて品目団体、JETRO及びJFOODOが連携して行う販路開拓、市場調査や商流構築などの輸出力強化に向けた取組を支援
- ・ 海外料理人の育成や日本産食材サポーター店の拡大、日本食・食文化に関する食体験コンテンツの磨き上げ等を支援
- ・ 食産業の海外展開を促進するため、官民協議会を通じて海外展開を支援

#### （2）海外での輸出支援体制の確立

- ・ 主要な輸出先国・地域において、JETRO海外事務所等を活用し、在外公館等と連携して輸出支援プラットフォームを設置・運営し、輸出事業者を専門的かつ継続的に支援

### 2 マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し

#### （1）輸出産地・事業者の育成・展開・安定供給体制の強化

- ・ 輸出産地サポーター等を活用した輸出産地の育成、都道府県と連携し、輸出産地による輸出事業計画の策定や実行の取組を支援
- ・ GFPを活用した、産地・事業者への輸出診断や商流構築など輸出熟度や規模に応じた伴走支援、輸出支援プラットフォーム等と連携したセミナーなどの取組を支援
- ・ 輸出リスクに対応し、融資を円滑化するため、信用保証に係る保証料を支援

#### （2）地域産業の強みを活かした加工食品の輸出の取組支援

- ・ 地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画した地域食品産業連携プロジェクト（LFP）を構築して行う、社会課題解決と経済性が両立する新たなビジネスを継続的に創出する取組を支援

### 3 省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等

#### （1）規制の緩和・撤廃に向けた協議の加速化

- ・ 政府間交渉に必要な情報・科学的データの収集・分析、輸出先国が求める植物検疫上の要求事項を満たすための体制構築等を実施

#### （2）輸出手続の円滑化、利便性の向上

- ・ 研修等による実務担当者の能力向上、人員の増強や検査機器の導入、輸出証明書の発行場所の拡大に向けた体制整備等を支援

#### （3）生産段階での食品安全規制への対応強化

- ・ 輸出施設のHACCP等認定、畜水産物モニタリング検査、インポートトレランス申請、国際的認証取得、施設登録規制への対応等を支援

#### （4）輸出向け施設の整備

- ・ 食品産業に対する輸出向けHACCP等対応施設や農畜産物の輸出拡大に必要な処理加工施設等の整備を支援
- ・ コンソーシアム（畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者で組織する事業共同体）が取り組む、畜産物の流通構造の高度化等に必要施設の整備等を支援

#### （5）知的財産の流出防止、侵害対策

- ・ 育成者権者に代わって行う海外への品種登録、侵害の監視や訴訟対応、海外ライセンス等の育成者権管理機関の取組、国内外におけるGIの侵害対応を支援

5兆円目標に向けた更なる輸出拡大を目指す

# 中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業

日系農業者等の連携交流の強化、農業・食産業分野での日本企業の中南米におけるビジネス創出、我が国農林水産物・食品の輸出促進に貢献するため、下記の取組を実施。

## 日系農業者等との連携交流の強化

### 日系農業者等連携強化会議

中南米の日系農業者同士及び農水省等関係者との情報交換、意見交換

### 日系農業者等研修・ウェビナー

生産性向上、土壌改良、6次産業化等日系農業者の関心事項について訪日研修、セミナーを実施



連携強化会議の様子

## 農業・食産業分野での日本企業の中南米におけるビジネス創出

### 日本の企業と日系農業者等とのビジネス創出の促進

日本及び中南米現地において農業・食産業の日本企業と中南米日系農業者等とのビジネスマッチングを実施



訪日研修の様子

## 日本の農林水産物・食品・食材の輸出促進

### 中南米への食産業展開・輸出促進報告会（GFVC中南米部会）

今年度、中南米地域において取り組まれた我が国の食産業展開、日本産食品の輸出促進等の内容や、ブラジルの食品の流通実態調査報告を実施

### 中南米地域における各種調査

ブラジル日本食品等輸入業者へのヒアリング調査等を実施



ビジネスマッチングの様子

## 第23回サンパウロ日本祭りにおける農林水産省ブースの概要

1. 開催日：2022年7月15日（金）～17日（日）
2. 場所：サンパウロエキスポセンター（ブラジル・サンパウロ市）
3. 目的：日本産食品・日本食文化の紹介に加え、普段のブラジルの食事に日本産食品を取り入れることをテーマにセミナーを実施。日本産食材サポーター店パンフレットを配布。
5. 来場者数：約1,100人（サンパウロ日本祭りの一般参加者）
4. 主な内容：

- ① 〈家庭で簡単に使えるヘルシーな日本食材〉  
康本高晶氏（「YAKITORI」オーナーシェフ）
- ② 〈今イチ押しの日本産食材！〉  
ファビオ・オオタ氏（Mega Sake代表）、  
クラウジオ・フクシマ氏（MAC, TOKYO FOODS）、  
ウーゴ・コガ氏（「ZENDAI」）、  
エリザベッチ・イタニ氏（「丸海」）
- ③ 〈日本茶魅力発信ステージ〉  
パトリシア アケミ氏（モリ・チャゼリア代表）
- ④ 〈日常に日本産食材を取り入れて健康になろう！〉  
白石テルマ氏（「藍染」オーナーシェフ・日本食普及親善大使）
- ⑤ 〈ブラジル料理、日本酒と出会う！日常のペアリング提案〉  
飯田龍也レシャンドレ氏（「Adega de SAKE」店主・酒サムライ）

上記講師による日本食文化・日本産品のプレゼンテーション・調理デモ、参加者への試食提供を実施。約1,050名以上からアンケートを回収した。



日本祭りの客席の様子



日本産食材展示の様子



日本産食材サポーター店  
パンフレット展示の様子

# 日伯食品・農業合同セミナー開催結果概要

1. 開催日：2023年2月3日（金）
2. 場所：ブラジル日本文化福祉協会（文協ビル）（ブラジル・サンパウロ市）
3. 趣旨：中南米地域最大の人口・市場・農業生産力を有し我が国とも長い経済・社会・文化面の強固な関係を土台に、今後の食・農分野での関係強化が期待されるブラジルとのビジネスや協力関係の一層の拡大を図る。

## 4. 主な内容

①ブラジルにおける日本産食品の販売状況や今後の展望について発表。

（発表企業）マルカイ、ZENDAI、ブラジル和食協会、ブラジルみずほ銀行、キッコーマン・ド・ブラジル、野村総合研究所

②日伯両国による途上国協力や世界の食料需要増大に向けた協力の可能性についてパネルディスカッションにより議論。

（パネリスト）ロドリゲス元ブラジル農務大臣、カンポス国際金融公社中南米農業担当、フォンセッカ・デロイト・アグリビジネス貿易担当、江口JICAブラジル事務所長、吉岡 農林水産省輸出・国際局参事官、林 農林水産政策研究所主任研究官（モデレーター）

③現地小売、日本食レストラン経営者、商社等にPRするため、レセプション会場において、ラーメンの試食や日本産食品のサンプル提供等を実施。

5. 出席者：約200名（対面：約120名、オンライン約80名）

政府関係機関・団体：外務省（林駐ブラジル大使、桑名駐サンパウロ総領事）、農林水産省、JETRO、JICA、ブラジル日本商工会議所、ブラジル投資促進庁（APEX-Brasil）、他

民間企業：味の素、ダイソー、伊藤忠、住友商事、クロノス・アリメントス（三井物産）、NXブラジル、Hirota、MAC Oriental Food、ヤマト商事、Nippon Bebidas, Lamen the bowl、Izakaya Omoide Sakaba、Mori Chazeria、Sakura、MN FOOD 他

レセプション出展企業・団体：西山製麺、熊本物産協会、茨城県、ブラジル味の素、梶谷食品、REIFA JAPAN、尾西食品、亀田製菓、トウスイ



パネルディスカッションの様子



会場の様子

# レセプションでの食品展示結果概要

- ・日時：2023年2月3日（金）、12:30-14:00（レセプションに併せて開催）
- ・場所：ブラジル日本文化福祉協会（文協ビル）（ブラジル・サンパウロ市）
- ・参加人数：約100名
- ・主な来場企業：
  - （小売・商社）マルカイ、ZENDAI、Hirota、ブラジル住友商事、MAC Oriental Food、ヤマト商事、Nippon Bebidas、クロノス・アリメントス（三井物産）
  - （飲食店）Lamen the bowl、Izakaya Omoide Sakaba、Mori Chazeria（日本茶店）
  - （流通）NXブラジル
  - （食品製造）Sakura



西山製麺



熊本物産協会



茨城県



尾西食品



トウスイ



梶谷食品



ブラジル味の素



REIFA JAPAN



亀田製菓

ご清聴ありがとうございました。

**MAFF**

Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries

農林水産省